

私が「征地巡礼」ガイドを務めます!!

ようこそ!わが町 西院へ!



桑原征平生誕の地 京都西院
「粋も甘いも」大人気コーナー「征平の、私は忘れない」にも登場する「征地」を当時の思い出とともに一挙ご紹介。動画も見られる新感覚街歩きガイドここに誕生!

14 お好み焼 野口商店
創業74年。征平さんの父親も通っていた店。「京都市の文化遺産」に登録される日は来るのか?!



15 高山寺
西大路四条の北東にある仏教寺院。地名の「西院(さい)」が「賽の河原」に通じるため子どもを救う地藏として信仰は厚い。だが、桑原少年にとっては「きもだめしの場」悪友との思い出が、鮮明によみがえる。



1 阪急西院駅
桑原征平の原点。阪急の「西院」は「さいいん」と読むのが正しいが…地元の人たちには、ほぼ100%「さんいん」を使用。「京都のウエストサイド★シティ」と命名したのは桑原本人。講演会の際、つかみネタとしてひんぱんに使われる。



3 坂井田オートセンター
高校時代。征平の愛車「マルヨネ号(実用自転車)」に「三段ギア」を付けてくれた店。アポなし訪問。「昔は小さい小さい自転車屋やったのに、ようこまで頑張って大きなお店にしゃはりましたなあ〜!」という言葉に店主大喜び。



5 「おむつ」の家
正式名称「岡部染工」。征平少年の幼なじみの男性「岡部睦美(むつみ)さん」(通称:オムツ)の実家。バツグンの成績。運動神経も良く、正義感も強かった岡部さんは今も健在。



※決して岡部さん宅を訪ねたりご近所に迷惑をかけないようお願いいたします。



7 さるすべりの木の家
「コジマさん」といえば…このあたりでは、昔から一番の名家。桑原少年が、ほぼ毎日さるすべりの木に登ったり、降りたり、登ったり。よほど気持ち良かったんやろうなあ…。征平らしいわ。(談:盟友、宮川タロー)



9 阪急電車 中ノ橋陸橋
「粋も甘いも」の「征地」。遅すぎるラジオデビューした60歳・桑原征平の「キング・オブ・すべらない話」一步誤れば…「昭和の惨事」になっていたかも。【類語】「ボスの存在」「性に関して早熟」



11 すし勝跡
征平曰く「日本一のきつねうどん」だった。一見さんには「七味」常連客には「山椒」が店側からコソッと渡された。



13 京都市立西院小学校(母校)
征平の記憶が正しければ「当時、京都市では3番目の生徒数だった」地元の人によれば「桑原三兄弟といえば超有名」「征平ちゃんといえば、あだ名付けの名人」「相撲がめっぽう強かった」…いまなお、伝説が語り継がれている。



2 はまだのうどん跡
昭和20年代おわり。夜の帳がおりる頃、必ず出沒したうどん屋台。桑原征平曰く「ミシュランガイドがあれば、必ずランクイン!」と、相変わらずの無責任な発言。



4 ジャンジャン横丁「焼肉・有楽」あたり
京都の公立校「西京高校・商業科」の受験に失敗。合格率1.04倍(104人受験して100人合格)の広き門からはみ出してしまった桑原少年。私立高校へ通うことを父親に内緒。毎朝(現・有楽の向かい側にあった)「ノブヤス君」の家で制服に着替えてから通学。ちなみに、この横丁にある「焼肉・有楽」は「故・松田優作」が通った事で知られる。



6 御生菓子司 亀山
征平少年の幼なじみが経営する「おもち」と「団子」の店。店主の長谷川進さんが放った「まあ、今で言うたらテイクアウトの走りみたいなもんですわ!この店は…」が印象的。おススメは「三色の花見だんご」ぜひ一度、昭和の味を体感してほしい。



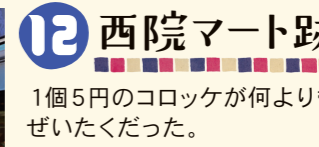
8 桑原家(征平)の実家跡
つわものどもが夢の跡。2畳3畳6畳で5人暮らし。現在は、完全に立ち入り禁止。



10 ナツメ屋自転車・硝子店
征平少年の幼なじみ「森田尚行さん」が経営。「森田!お前、老けたなあ…お前、年齢幾つや?」「お前と一緒にやんけ」「森田!お前からなんでタカラヅカの娘が産まれんねん?」「そんなもん知らんわ」「ホンマにお前の子か?」「そんなこと今さら言うなや。違ごたらどうすんねん(笑)」



12 西院マート跡
1個5円のコロケが何よりもぜいたくだった。



【読み取り方法】
① スマホのカメラをかざすもしくは
② QRコードリーダーで読み取る

各征地のQRコードを読み取ってや!
ロケ動画が見れまっせ!

